



▲小野寺五典防衛大臣(左手前)らと会談する福田良彦市長(右手前から2人目)ら



▲全員協議会での福田良彦市長(上)と古屋剛防衛省地方協力局調整課長(下)

平成25年12月1日、小野寺五典防衛大臣が市を訪れ、岩国基地を視察後、福田良彦市長らと会談しました。

会談では、普天間飛行場からKC-130空中給油機を米軍岩国基地へ移転することについて、小野寺防衛大臣から「少しでも早く目に見える形で沖縄の負担軽減を図りたい。普天間基地の危険性除去の第一歩として、平成26年6月から9月の間に移駐を実現することに、岩国の皆さんにあらためて理解をいただ

防衛大臣来岩・全員協議会

きたい」と説明がありました。

また、12月9日に行われた全員協議会で、市議会から防衛省職員らに対する質疑が終了した後、福田市長は、KC-130空中給油機を岩国基地に移転させる政府方針を受け入れることを正式に表明し「沖縄の負担軽減や普天間基地の危険性除去の重要性、沖縄県知事・宜野湾市長らの期待感、市議会の意見を踏まえて総合的に判断した」と説明しました。

閩基地政策課 ☎ 295024

KC-130 空中給油機の移駐

市政 PICK-UP



▲KC-130 空中給油機

身近にある、大切なこと

11月19日、市民会館で、人権啓発フェスティバルが行われました。

中学・高校生から応募のあった作品の入賞者および学校賞の表彰と、作文・詩で特選を受賞した生徒による朗読が行われました。

また、表彰式と朗読の合間に、人権イメージキャラクターの「人KENまもるくん・あゆみちゃん」が登場し、人権の大切さや人権擁護委員の活動について



▲会場に呼び掛ける「人KENまもるくん・あゆみちゃん」

人権啓発フェスティバル

て説明しました。

記念講演では、相田みつを美術館の館長である相田一人^{かずひと}さんが、故相田みつをさんの詩・書の表現やエピソード、戦時中の体験を経て作られた、いのちの大切さを伝えた作品の解説などを時に笑いを誘いながら分かりやすく話されました。

参加者は、人権問題に対する正しい理解と認識を改めて深め、人権意識を高めました。

岡人権課 ☎295010



▲記念講演をする相田一人さん



▲プレゼンテーションをする若手職員

まちづくり案を市長に提言

昨年6月に発足し、約半年間「岩国錦帯橋空港を活用した新たなまちづくり」をテーマに会議を重ねてきた「行政経営改革若手職員プロジェクトチーム」による提言が、11月26日、市役所で行われました。

提言内容は、岩国の知名度を上げるプロモーションビデオの作成、岩国を訪れる観光客に向けた観光アプリの開発、首都圏企業を対象にした岩国特産アヲカルトツアー、基地周辺に異文

若手職員プロジェクトチーム

化に触れながら学べる学校や国際交流の広場などからなる創造&交流エリアを整備する4案で、プレゼンテーションの後、福田良彦市長に提言書が提出されました。

福田市長は「具体的な提言で、すぐに取り掛かれそうな魅力的な提案もありました。今回のプロジェクトでの経験を今後の業務に生かしてください」と講評しました。

岡行政経営改革室 ☎295029



▲福田良彦市長に提言書を提出